

ハンガリーにおける問題点と要望

区分	経由団体	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法	
9	輸出入規制・関税・通関規制	自動部品	(1)	通関手続の困難さ	通関にかかる時間が日本と比べ長く、日々の生産に支障をきたす場合がある。又、通関書類は英語にて記載されているが、通関品目のハンガリー語書面での説明を求められる場合もある模様。	通関時間の短縮を希望。長期化の要因が一通関士、一企業での場合であっても、国としての対応ができないものか。左記例でいえば、英語書面のみでの通関可能化促進。	
14	税制	日機輸	(1)	高付加価値税	2012年1月1日からVAT税率は27%となる。 (継続)	VAT税率をEUレベルに低減することを要望。	http://www.worldwide-tax.com/hungary/hungary-vat.asp
16	雇用	自動部品	(1)	労働者の権利保護	休暇が他国と比較して多すぎる。 - 有給休暇は、労働者の勤続年数ではなく年齢に応じて決められているため、新人でも高齢であれば30~40日も取得することができる。 - 通常の有給休暇に加え、病気休暇も認められている。年間通算15就労日の病気休暇の期間は有給であるが、会社の負担となる。医師の証明書は簡単に容易に取得できるので、15日の病気休暇は年次有給休暇と変わらないものとなっている。	有給休暇は労働者の年齢ではなく、勤続年数に応じて決められるべきである。 有給の病気休暇は削減する必要がある。 医師が証明書を簡単に発行しないようにすべきである。	労働法(2012年法律第1号) - 第1章「総則」 - 59条 休暇 - 61条 病気休暇
		日機輸	(2)	ビザ取得の困難さ	ビザ申請に必要な書類が多く、かつ取得に非常に時間がかかるため、ビジネスに支障をきたしている。 (継続)	ビザ取得プロセスを簡素化して欲しい。	移民法
		自動部品	(3)	183日未満の短期滞在者免税	国境を越えたビジネスの進展に伴い、人の移動もボーダーレスなものとなっている。その中で、183日以上1年未満の海外滞在が年々増えてきており、所得税の2重課税問題が頻発している。	183日という基準の見直しを図るよう世界各国に働きかけていただきたい。	
23	諸制度・慣行・非能率な行政手続	日機輸	(1)	EKAER SYSTEM	2015年1月1日から、3.5トン超トラックによる高速道路・主要国道上の製品の輸送については、付加価値税(VAT)脱税防止のために、事前に税・関税当局への申告が義務付けられた(電子輸送管理システム:EKAER)。 (継続)		